

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 南丘 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和6年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。（熱中症等の予防の観点から、20mシャトルランについては、5月中旬から6月上旬に実施しています。）

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動と一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、
立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

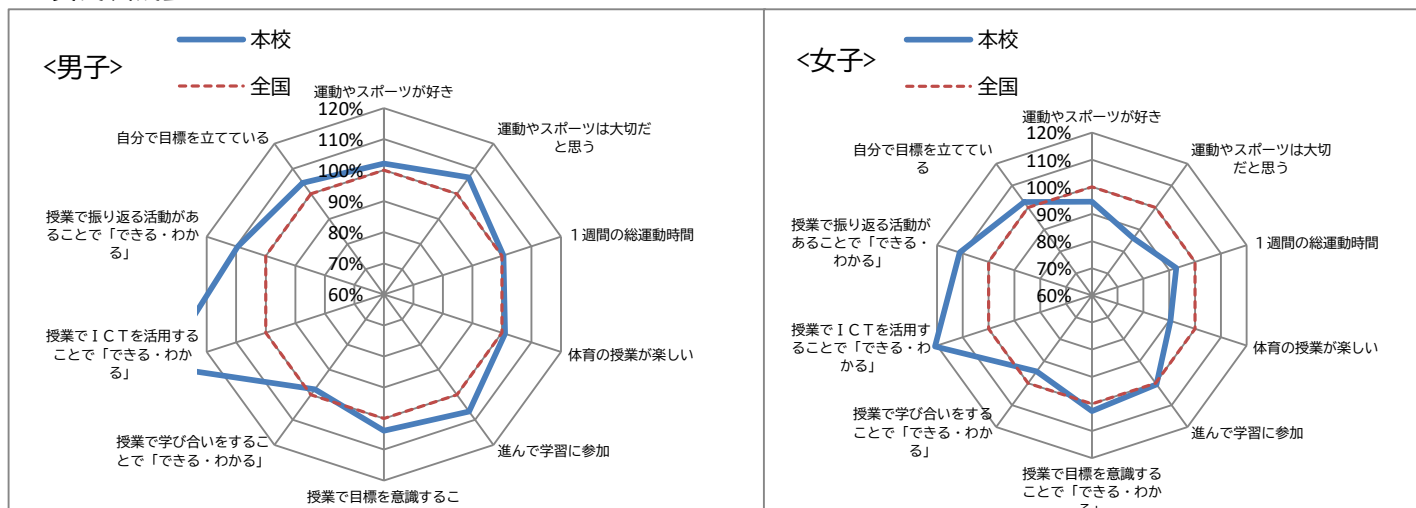
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
本市	15.98	19.39	34.42	40.27	49.36	9.54	150.13	21.81	53.10
本校全国平均以上の種目			○						

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92
本市	15.88	18.39	38.51	38.13	38.67	9.79	142.58	13.44	54.32
本校全国平均以上の種目				○	○		○		○

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

本校の児童は自分で目標を立てて体育科の授業や運動に取り組む傾向がある。また、ICTを活用することで運動の仕方を理解し、できることが増え、達成感を味わうことができています。さらに振り返る活動があることで自分の力を意識することにつながっている。一方で、実際の運動能力は高いが、質問紙の結果からは女子の運動習慣に対する意識は低いことがわかる。来年度に向けて授業で目標を意識させるようにすると、男女共に運動と生活の習慣にバランスが保てるのではないかと考える。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

本校の児童は男子が長座体前屈が全国平均を上回り、女子は反復横跳び、20mシャトルラン、立ち幅跳びが全国平均を上回った結果となった。これらの結果は昨年度の課題である柔軟性や瞬発力等を高めた成果である。何よりも女子の体力向上につながる結果が出たことは、日頃の授業において、けがの予防も含め、適度な準備運動と十分な運動量の確保を今後も継続していく必要があると考えられる。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

保健体育委員会や体育部が主催する体力アップ週間や一校一取組において、今年も「ランランタイム」を1月に実施した。走ることや縄跳びチャレンジによる跳ぶ回数、難しい技などへの挑戦を通して、運動に親しみながら体力向上を目指して成果をあげることにつながると考える。今後も筋力や持久力を高める運動を強化し、男女共に体力・運動能力を高めたい。